



TOPICS

中期経営計画と 2035 年の「ありたい姿」を策定しました

- ▶ 社内イベント他のご紹介
- ▶ 技術紹介
 - 電気通信グループ 「神戸港 陸間遠隔操作システム」
 - 原子力耐震グループ 「原子力施設の耐震安全性評価」

中期経営計画と 2035 年の「ありたい姿」を策定しました

今回は策定に至る経緯や内容を簡単にご紹介します👉

使命：自然と人を技術で結び、持続可能で快適な未来を創る。

経営理念：情熱と誠意をもって「信用と信頼の輪」を拡げ、世の中の幸せを希求する。



【NJビジョン2050】
共に拡げ高め合い、
“自然と”生きられる社会を世界に。

2035年のありたい姿

ワクワク・活き活きと、新たな価値を創造しながら進化し、 循環型社会の実現に貢献する

従業員一人ひとりが、やりがいや成長が実感できる「ワクワク」する仕事を通じて、ニュージェックの伝統的な企業文化を引き継ぎながら、会社全体が「活き活き」と活気に満ち溢れた職場風土を醸成する。

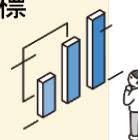
そして、社会の課題を解決する建設コンサルタントとして、これまでの領域に囚われずに挑戦し続けることで、**新たな価値**を創造しながら**企業進化**を重ね、**循環型社会の実現**に貢献する企業を目指す。

中期経営計画 取り組み項目

- ①人財総合力の増進 ②技術競争力の向上 ③生産効率性の飛躍的改善
- ④利益率の向上 ⑤内部統制の充実 ⑥人に優しい働き方・職場環境

2030年收支目標

受注・売上目標 220億円
営業利益 18.6億円
営業利益率 8.4%



▶まずは全社員の意見を聞く…！？

策定にあたり、これからを担う若手の意見も取り入れた方が良くだろうという社長の考えのもと、全社員アンケートと若手・中堅社員の意見収集を実施しました。



▶意見のとりまとめ

意見収集やアンケートで寄せられた意見、ならびに社長・役員の考えや思いをもとにキーワードを抽出し、全6回にわたる会議で議論を

重ねました。

そのうえで、まず2035年における「ありたい姿」を明確に定め、その実現に向けて何に取り組むべきかについて、会社が抱える課題を整理するとともに、社会情勢や事業環境の変化を丁寧に分析しながら検討し、2026年～2030年の取り組み項目と売上目標を策定しました！

▶今後の意気込み

これまで、理念体系・NJビジョン2050のもと、企業改革・企業進化を行うことで生産性向上を図り、着実な売上高の増加を実現するとともに、チャレンジ精神を如何なく発揮し、国受注の増加や新規分野、DX業務の獲得等に繋げてきました。2026年からの5年はそれらの取組みを一層深化させ、2035年のありたい姿の実現に向けて前進して参ります！！

社内イベント他のご紹介！

▶ オフィスを移転しました

執務室環境整備の一環で、下記事務所のオフィスを移転しました。

群馬事務所

新住所：〒370-0841

群馬県高崎市栄町 4 番 11
号（原地所第 2 ビル 3 階）

電話番号：027-331-4587

FAX 番号：027-331-4588



▶ 東京本社 ビル名変更のお知らせ

東京本社が入居しているビル「錦糸町プライムタワー」の名称が、2026 年 2 月 1 日より「JRWD 錦糸町タワー」に変更となります。

▶ 防災教育出前講座を実施しました

2025 年 12 月～2026 年 1 月末にかけて 5 件の防災教育出前講座を実施しました！

🌧️ 詳細はこちら→[N-EXPO](#)



盾津東中学校と防災フェスタ（淀川区）の様子

▶ 建コン近畿支部 第 58 回研究発表会

2025 年 11 月 13 日（木）、建設コンサルタンツ協会近畿支部主催の「第 58 回研究発表会」が開催され、弊社からは 5 名の社員が研究発表を行いました。

このうち、一般論文発表として、「クルーズ船寄港回数の推計手法に関する検討事例」を発表した港湾・海岸グループ所属の社員が、奨励賞を受賞しました！



▶ 第 8 回「関西のゆめプロジェクト」

2025 年 12 月 2 日（火）に、NPO 法人あすの夢土木と日刊建設工業新聞大阪支社の主催による、第 8 回「関西のゆめプロジェクト」発表会が開催されました。

当発表会は、35 歳以下の若手技術者がインフラ整備やまちづくり、観光振興などに関する夢のあるアイデアを披露する場として毎年開催されており、今年は官民から 49 編の発表が行われました。

弊社からは 6 名が発表し、そのうち道路グループ所属の社員 2 名が、最優秀賞と夢土木賞をそれぞれ受賞しました！



4 年連続の最優秀
受賞です！！



最優秀賞：「YODOGAWA MIRAI PARK
～水と未来が見えるまちづくり計画～」

夢土木賞：「柔軟なインフラ構築の可能性
～自由に移動できる橋梁の開発～」

▶ 「東京国際クルーズターミナル」動画公開！

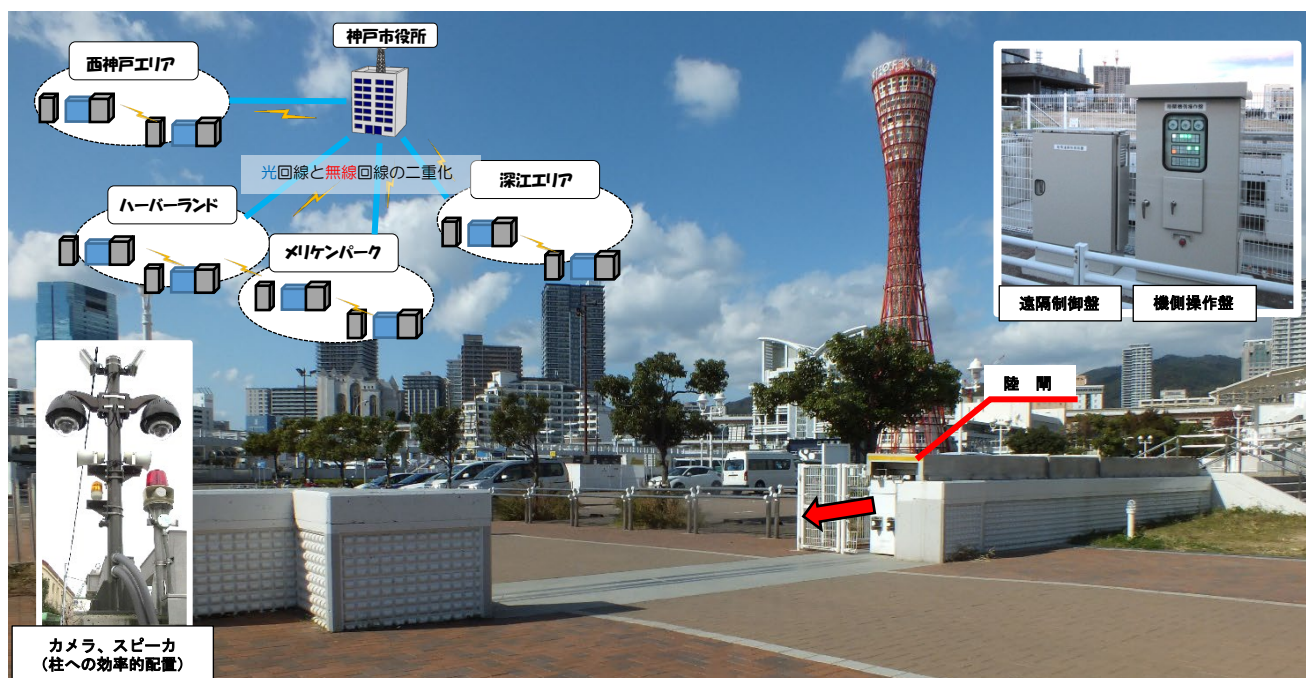
YouTube チャンネルに「東京国際クルーズターミナル」の動画を公開しました！

弊社は当施設の岸壁と防波堤の設計を担当しました。ぜひご覧ください！





第11弾は…神戸港 陸閘遠隔操作システム



基本情報

場所…兵庫県神戸市

業務を行った(業務に関わった)グループ

…電気通信グループ、港湾・海岸グループ



▶業務内容

津波・高潮対策を目的とした神戸港の陸閘・水門を遠隔より監視・操作するシステムを拡張するため、2019年～2023年にかけて5ヵ年で70施設を対象に電気通信設備の設計を行いました。

▶業務を行う背景と目的

神戸港では南海トラフ地震に伴う津波や大型台風による高潮から、人命・財産を守るための防潮堤や陸閘・水門の整備を進めています。また、東北地方太平洋沖地震で水門等を閉鎖するために現地へ行った作業者が、津波に巻き込まれた事例を踏まえて、防潮鉄扉の遠隔化を行う計画でした。

▶業務を進めるうえで工夫した点やポイント！

通信設備にLPWA (Low-Power-Wide-Area：省電力広域無線) を活用しています。自営で構築可能で免許が不要なため利用しやすい反面、電波の飛距離が短いという課題がありました。

港町として栄えてきた神戸市は海岸周辺に建設物が多いため、電波が届きにくいことから、通信設備の設置位置を決定するための電波調査や検討に期間がかかりました。

▶この業務によって、社会に貢献できた、またはできそうな成果は？

本システム整備を含めた複数の対策により、神戸港はL2津波対策完了が発表されており、それに携われたことに大きな意義を感じます。

メリケンパークやハーバーランドは外国人の来訪も多い観光地ですが、神戸市のシンボルとなるような場所も人命・財産を守るためにシステムが常時稼働しています。



第12弾は…原子力施設の耐震安全性評価

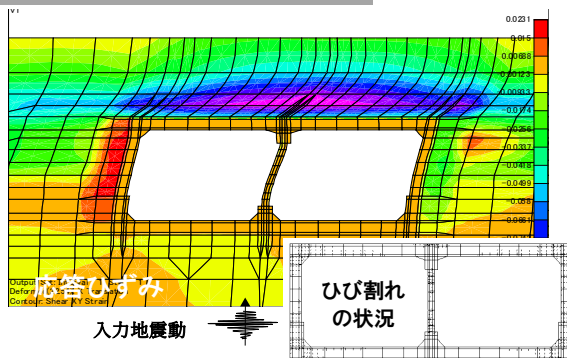


※関西電力 HP より引用掲載

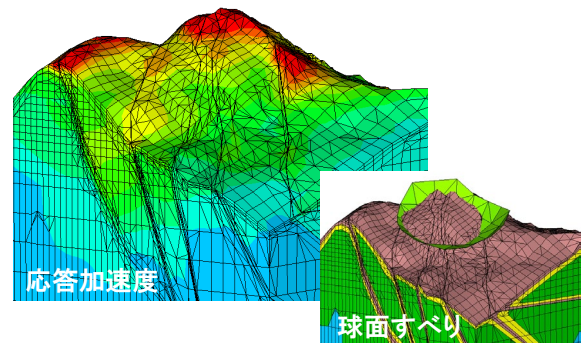


※土木学会の技術指針

地中構造物の地震応答解析の例 (※材料非線形解析を用いた事例)



地盤の地震応答解析の例 (※三次元地震応答解析を用いた事例)



基本情報

場所…原子力発電所

業務を行った(業務に関わった)グループ

…原子力耐震グループ



▶業務内容

原子力耐震 G では、原子炉建屋の基礎地盤・周辺斜面や冷却系水路等の土木構造物について、数値解析による耐震安全性評価を実施しています。

▶業務を行う背景と目的

福島第一原発の事故を契機として、原子力発電所の安全性に対する新しい規制基準が施行されました。耐震安全性についても基準が強化され、高度かつ信頼性の高い数値解析手法を駆使して安全性を評価します。

▶業務を進めるうえで工夫した点やポイント！

規制強化により設計地震動が大きくなりました。地盤や構造物の応答も大きくなり非線形挙動も呈します。そこで、土木学会が制定した技術指針に準じて解析評価し、必要に応じて三次元解析等による精緻な解析評価も行います。なお、この指針には私たちも参画した電力会社の共同研究成果が活用されています。

一方で、解析作業は複雑かつ膨大となります。ミスは原子力の安全・信頼にも関わります。このため原子力では、解析の各プロセスにおいて2重、3重の特別な品質チェックが要求されています。

▶この業務によって、社会に貢献できた、またはできそうな成果は？

原子力発電所の耐震安全性が認められ稼働することによって、地球温暖化の抑制や電気料金の低減につながります。